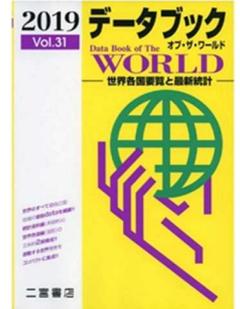


社会科からの補足事項です。長い文章ですが、必ず一読しましょう。ヒントがたくさんありますよ。

とにかく今回の課題は授業に直結しますので、必ず取り組みましょう。追加課題の地理 No.25-26 は授業の宿題と考えて、他の課題を先に行い、なるべく学校再開に近い時期に行うように（授業の時に忘れていないように）してくださいね。授業ではこの2枚と確認テストの内容でアジア州の学習の大半は終了になる予定です！

**MISSION 1 の補足**

データブックその1は第1位の項目はなにか、データブックその2は日本は何位なのか、第1位の国はどこか、統計資料の中にこれまでに学習した地域の国は入っているのかということなども意識しながらチェックをしてみましょう。



**MISSION 2 の補足**

日本のすがた 2020 から問題を作る課題について  
問題を作る際のポイント

- ①自分が「なるほど!」とか「勉強になった!」とか「みんなに知ってほしい」と思ったことを問題にしよう。自分が大切だと思うことは、みんなにとっても大切なことが多いです。
- ②コンセプトを明確に。何を問う問題にするかを明確にしよう。  
「1つの問題で1つのことを問う」これがベースです。
- ③根拠を明確にしよう。

「根拠となるのは統計資料」と考えて良いです。授業でも話をしているとおりの、1つの根拠(統計資料)から1つの見解(意見)を導く場合は「技能」、複数の根拠(統計資料)から1つの見解(意見)を導く場合は「思考」になります。

「思考問題はレベルが高い」と話をしているとおりの、問題の作成も「思考」問題はレベルが高いです。根拠となる統計資料や統計資料を解説してくれている文章をよく読んで、どのような意見を導けるかを考えて、少なくとも1問は思考問題に挑戦してみましょう。

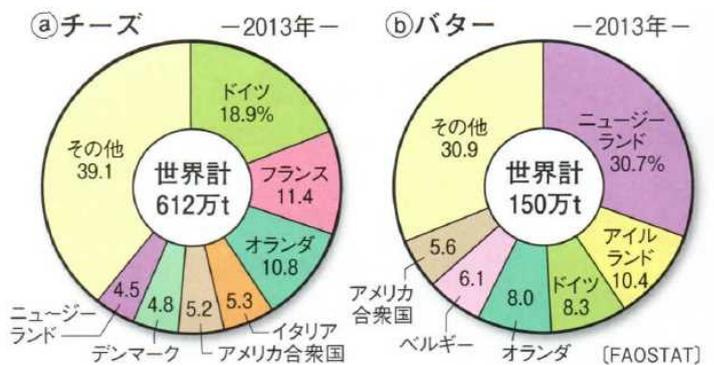
- ④予想しよう。  
「先生ならこういう問題を作るだろうな」と予想するのはとても大切です。  
今までの試験問題なども参考にしながら、考えてみましょう。



技能問題の作成例：一つの資料から、情報を適切に読み取ることができるか。

[例] 資料Fの読み取りとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。【技2】

- ア チーズの輸出量上位3カ国とバターの輸出量上位3カ国は同じ国で占められている。
- イ チーズの輸出量上位3カ国はヨーロッパ州に属する国である。
- ウ バターの輸出量上位3カ国はヨーロッパ州に属する国である。
- エ バターの輸出量上位3カ国で全体の50%以上を占めている。



**F** チーズとバターの輸出

**解答…イ**

※記号問題は作成難易度が高いのですが、4択問題は定期考査、入試の主流なので、ぜひ挑戦してみましょう。

### MISSION3 の補足 日本のすがたと地図帳の架け橋について

基本的には、地図帳にマークをする課題ですので、日本の姿の指定ページにある5つの地図の内容をマークしてください。ボールペンで書くと、地図帳は見にくくなります。やめましょう。できれば色鉛筆でマーク、消えるたびに何回も塗り直す…とやっていくといつの間にか覚えていることが多いです。一方、蛍光マーカーは見やすいので、一目してわかりやすい地図に変わります。このどちらかが良いですね。

日本のすがたに書かれている内容を地図帳にどんどんメモしていくと良いです。小さな付箋に書いて、地図帳にどんどんペタペタとコメントを貼っていくと、いらなくなったら剥がせるので、おすすめです。受験勉強にも使える方法なので、ぜひマスターしてください。とても勉強になりますよ。

◇山地や山脈、火山の分布が地図帳で見つけにくい場合は、教科書の「日本の諸地域」の自然環境について書いているページの地図を参考にしよう。例えば、九州地方の場合は教科書 P.140 左上にある「①九州地方の自然」を参考にしてみよう。

◇製鉄所の地図記号は地図帳 P.4 の記号凡例「製鉄」を参考にしてみよう。

◇石油化学コンビナートは地図帳の P.86「⑥九州地方の工業」、P.92「④中国・四国の工業」、P.102「④阪神工業地帯」、P.112「②中京工業地帯・東海工業地域」、P.125「①北関東工業地域・京浜工業地帯」に載っている「石油・化学」の位置も確認してみよう。

### MISSION4 の補足 「日本史用語集のマークについて」

日本に関する歴史を日本史といいます。みなさんが高校に進学する可能性が高いと考え、高校で使用することの多い用語集を購入しました。おそらく、みなさんが進学をする頃には「歴史総合」という日本史と世界に関する世界史が混ざった科目になっているので、この日本史用語集を持っているのは貴重な存在かもしれません。高校ベースの内容なので、間違っても「載っている内容をすべて覚えよう！」ということはないように！中学生にはそこまで必要ありませんし、その時間は他の勉強にあててください。もし、家に歴史に関する本があるという人は、この日本史用語集を辞書代わりに引きながら勉強すると、さらにバックグラウンドが見えて面白くなると思います。

一方で、赤字になっているもの、数字で⑧と書いてあるものは重要用語と考えてもらってかまいません。教科書には載ってなくても、この事象、この人は歴史に大きく関わっている可能性が高いんだなと思って見ていくようにしましょう。



### コンクールの補足

課題配付日に「まだ!」といったあなた。もう終わってまだ余力のあるあなた。社会科に関するコンクールをまとめておいたので、ぜひ参考にしてください。

もうすぐこのイレギュラーな臨時休業期間は明けるはずですが、日常をどこまで取り戻せるかはわからないところですが、みなさんの中学校生活は再開します。そのときのために、しっかり助走となるこの課題をやり遂げてきましょう!応援しています。



第11回

いっしょに読もう!

# 新聞コンクール

新聞

日本新聞協会は、今年も「いっしょに読もう!新聞コンクール」を実施します、  
家族や友人といっしょに記事を読み、感想・意見などを書いて、  
記事とともに応募いただく新聞感想文コンクールです

国際

テーマ

# 2030年の 私からの手紙



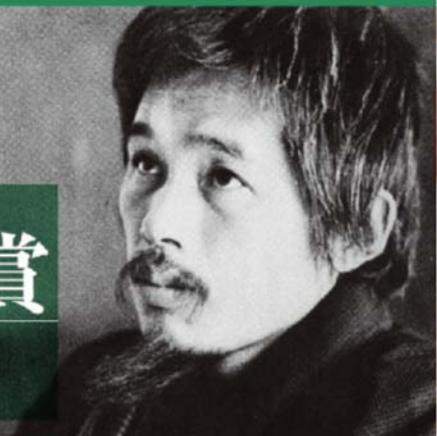
第10回  
花王国際こども環境絵画コンテスト  
KAO International Environment Painting Contest for Children

環境

平和

第29回 鳥根県雲南市

## 永井隆平和賞 作品募集



# 社会科関係のもの

各HPで応募基準、昨年度の受賞作品が見られます。確認してみましょう。  
見るだけでも勉強になるし、パワーをもらえます。新聞の課題はニュース  
カードと同じで取り組みやすいと思います。新聞を購入し添付する必要が  
あるので(1つ150円くらい)、注意してくださいね。  
社会科関係の案内なので他の課題でももちろんOK。上記で何か質問等が  
あれば、学校再開後に石本まで質問してください。

※コンクールなので基本的に、前向きな  
テイストの作品にすると良いですよ!

各出典

新聞 : [https://nie.jp/month/contest\\_newspaper/2020/](https://nie.jp/month/contest_newspaper/2020/)

国際 : <https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>

環境 : <https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2020/20200323-001/>

平和 : <https://www.koubo.co.jp/contest/literature/letter/064803.html>